

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

July 2016
Vol. 47
毎月10日発行

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

受験は自分の力で 進路を勝ち取る最大のチャンス 先生達と一丸となって夏期講習を頑張ろう。

高木 秀章(塾長)



先日、5月下旬の中間テストの結果が出てきました。なんと、450点以上を取った生徒の数が73人(トップ497点)、直近1年間の自己ベストを取った生徒が138人。なんと211人にカイチ賞・努力賞の図書カードが贈られました。みんな本当によく頑張ったと思います。新学年は、みんなで幸先の良い素晴らしいスタートが切れました。

先生が今この記事を書いているのが6月中旬、今月末には期末テストがスタートし、その後は受験生の三者懇談会と夏期講習会があります。今、先生達は、三者懇談会でご家庭にお話する生徒各自の志望校の方針を決めたり、夏期講習の準備で大忙しです。

受験生の皆さんは、先生の日から見て、定期は頑張っているが、実力面はまだまだという生徒がたくさん見られます。志望校方針を検討していても、将来の進路を考えるとここで一頑張りして、ランクを上げておきたいという生徒がたくさん見られます。まだ受験に意識が向かないという人も、夏期講習が明け、9月の実力テスト、10月の大阪市統一テストが近づくと目の色が変わります。そして、これら実力の対策が小手先の勉強ではどうにもならないことは、よく知っていると思います。

生徒の皆さんには何度も話していますが、受験校決定に強力な影響力をもっているのは、10月の大阪市統一テストと実力テスト、そして11月の実力テストです。遅くとも、8月末までには、中1・中2内容の単元復習が全て終了し、9月には、それらを応用する複合問題演習を徹底的にしておかなければ、これらのテストに対応することは難しくなります。

このGrowingを手にするのは7月10日頃ですから、学校でも塾でも三者懇談が始まる頃だと思います。まずは、家族で将来の進路について話し合ってみましょう。教育講演会でもお話ししましたが、お父さんやお母さんの仕事の話を聞くのも良いかもしれません。そして、そこから、皆さんの進路に繋がる志望校について考えてもらえたらと思います。そこに合格することで、自分を誇らしく思え、将来が少しずつ見える。それが皆さんの志望校になる学校です。

そして、夏休みはその志望校に近づくためにみんなで、できる限りの努力をしましょう。昨年度の受験生のデータを調べると、入会時から、中3卒業までに志望校を2ランクアップ(偏差値5UP)した生徒が全体の27.5%(38人/138人)、3ランクアップ以上(偏差値7.5UP以上)の生徒が52.1%(72/138人)でした。このように見ると、約80%の生徒が志望校を2ランク以上伸ばしていることがわかります。そして、昨年度、夏期講習のみで受験生が平均で伸ばした偏差値は3.2です。実力はなかなか伸びないと言われますが、それはウソです。実力はやった分だけ必ず伸びます。効率的な夏の学習方法や時間の使い方は、ガイダンスで詳しく説明しますが、この夏、日々努力を重ねていくことが、秋から始まるテストの結果となり、皆さんの第一志望合格に着実に繋がっていきます。

受験は自分の力で自分の進路を手に入れる人生最大のチャンスです。中3の夏は二度と戻って来ない。いくら悔やんでも、時間だけは巻戻せない。そして、君たちにとっての高校受験も、人生で1度きり。悔いが残らないよう、先生達と一丸となって、夏期講習を頑張りましょう。





CLASSROOM REPORT 教室レポート

親子の会話で語彙力を高めよう

マナロ 恭子(上本町教室長)

新学年になり、3か月が過ぎましたが、子供達の様子はいかがでしょうか。上本町教室は、小さい子供が殆どで、特にゴールデンウィーク明けぐらいから、ちらほらと曇り顔が見られてきました。新しい学年で、新しい先生、新しいクラスメイトと過ごすようになり、だんだんとストレスが溜まりだす頃でした。年中さんの男の子はお友達との関係が上手くいってなかったり、年少さんの女の子は昼寝の習慣を無くされて、ややご不満がみ。それでも毎週休むことなく、暑い日も、雨の日も、上本町教室まで頑張ってきて来ます。教室に入ってきたときは少し元気のない様子でも、授業が始まると山内先生の魔法がかかったように、だんだんと元気を取り戻し、授業が終わってもお話が止まらないくらいに大変身します。

7月に入りやっと新しい環境にも慣れてきたかな・・・と思っていたら、プールが始まったり、運動会の練習があったりで子供達は落ち着いている暇がありません。そうやって、子供達は成長していくのですが、子供達がそんな中でも安心して幼稚園や学校に通えるのには、家庭の環境がとても大事だということが、私も娘が幼稚園に通うようになって改めて良く分かるようになり

ました。特に親子の会話はとても重要です。子供の話に耳を傾け、「お父さんとお母さんはいつもあなたの味方だよ。」ということ伝えておくと、子供は安心して幼稚園、小学校という社会で戦うことができます。また、親子の会話は、子供達の言語習得、国語力の基礎となります。日頃の親子のコミュニケーションが国語力に大きな影響を与えとも言われています。

小学入試クラス担当の山内先生は、最近の子供達は語彙力が足りていないとよく言っています。私の娘は大変おしゃべりで、どこへ行っても「おしゃべりが上手ですね。」と褒められますが、それでもまだまだ語彙不足だということが分かりました。それは周りの私達大人がちゃんとした日本語や、正確な物の名前を話していないのが原因だと山内先生からご指摘を受けました。例えば、台所用品で、お玉を「大きいスプーン」、フライ返しを「ハンバーグ焼くやつ」、すりこぎを「棒」・・・と勝手に親子の間だけの共通語を作っていたり、「早く靴を履きなさい。」を、「はよ、くつ!」と省略していたり・・・反省です。同じ日本人でも日本語力に大きな差があるのは、こういうところが原因なのでしょう。

下のイラストは、小学校入試に出てくるもので、幼児が知っていて当たり前の言葉とされています。このイラストを見て、どんな時にどういうふうにして使うのかを面接試験で問われ、自分の言葉で表現できなければなりません。実際に見たり、経験したりしていないと分からないものです。

夏休みは親子のコミュニケーションを増やす、絶好のチャンスです。行事や旅行を楽しむのも、もちろん良いですが、その前に少し歴史や文化について一緒に予習してみたり、地図を広げたりするのも良いですね。親子の間のコミュニケーションも広がるし、自分が得た知識を実際に体験することで、頭の中の情報と、現実が結びついて、とても良い刺激になると思います。

夏と言えばお祭り!『なんででんねん天満はん』という絵本を見つけました。日本三大祭の1つ、大阪天神祭りの由来と熱気を関西弁で語っていて、絵もとても鮮やかです。今年は親子でこれを読んで天神祭へ行くと、今までとは違う新しい発見があるかもしれません。またその体験を絵に描いたり、絵日記にすると総合的な学習にもなります。中学生もぜひ読んでみてください。



ショブ



カナナ▲



門松▶

上記の物の名前や使い方が小学校入試で問われています。生活の中での知識や経験が大切です。



▲木になるものと畑になるものの仲間分けをしているところ(上本町教室)

夏休みに親子で読みたい絵本

(各教室の本棚に用意してあります。)



▲私達にとって身近な天神祭りの絵本です。どうして日本中に天満宮があるのか、どうして学問の神様と言われるのか、どうしてお祭りが25日なのか、ちょっと知りたくないですか?文は関西弁でもおもしろく、「キャベツくん」や「おしゃべりなたまごやき」で有名な長新太の絵が天神祭りの迫力を引き立てています。



▲お祭りと言えば花火ですよね。とても綺麗で、私達を楽しませてくれる花火がどのようにして作られているのか。花火の球の中身はどうなっているのか。どうしてどこから見ても同じに見えるのか。一度は疑問に持ったことがあるのではないのでしょうか。花火のしくみや、からくり、花火職人の仕事振りなどを描いた社会科学絵本です。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

夏休みの心得

福井 幸司 (関目教室)



関目教室の福井です。

皆さんにとって、待ちに待った夏休みがやってきます。たくさんの楽しいイベントがスケジュールに組み込まれている人も多くいるでしょう。まず夏休みに塾に通う意義について考えてみましょう。

●夏は復習に取り組む大チャンス!

夏休み期間中は当然ながら学校の授業がストップします。しかも長期間。また中学生にとっては目先のテスト(小テストや定期テスト)もしばらくありません。日頃はつまずきに気付いても授業が進んでいくため、復習に専念できませんが、夏休み中はじっくり腰を据えて復習をし、弱点克服をする絶好の機会なのです。

●長期間の休みだからこそ定期的なスケジュールで時間を区切ろう!

毎日毎日が休日なので、クラブや習い事がなければ時間の区切りの意識が薄くなりやすくなります。定期的なスケジュールを取り入れることによって、しっかりと時間の区切りを作りましょう。時間の区切りがあれば、1日の空き時間をイメージして「〇〇は今日のいつ頃にやろう」という時間管理が訓練できます。

どうですか。夏休みのスケジュールに「塾通い」を入れておくことが大切なのが分かりましたか。

今回の記事を書くにあたり、「心得」という言葉の意味を調べました。【心得】知っておく必要がある事から(角川国語辞典)では夏期講習を受講するために知っておく必要がある事からを説明していきます。

①休みであっても規則正しい生活を維持し、塾を休まないようにする

実は夏休み中に生活のリズムを乱し、うまく戻せないまま2学期に突入し、歯車が狂っていくケースをよく見聞します。特に翌日に早く起きる必要がないことから起こりがちな「夜更かし」は厳禁です。寝不足の状態で塾に来て勉強することのないよう気を付けてください。

②決められた課題をきちんとやって、次の授業に臨む

通常授業と比べて、授業と次の授業との間隔が狭くなりますので、宿題をするのも大変になりますが、「すぐにやる」ことを意識して積み残しをしないようにしましょう。

③補習日を活用し、遅刻や欠席をして受けられなかった授業を素早くカバーする

カイチの夏期講習には予め「補習日」が設けられています。これはカイチの特長です。受けられなかった授業分は補習日を利用してすぐにカバーしましょう。これも積み残しを作らないようにしましょう。卒業していった先輩たちも補習日をフル活用してクラブとの両立を成功させてきました。

④学校の宿題も勉強のスケジュールに組み込み、早い時期に終了させる

夏期講習の勉強に追われて学校の宿題に手を付けられず、夏休みの後半になってあわてて学校の宿題を優先し、最悪の場合、塾を休むケースがあります。そうならないように、学校の宿題もしっかりとスケジュールに入れ、計画的に取り組んでいきましょう。

最後に、夏期講習とは直接関係はありませんが、せっかくの長期休暇ですので、日頃なかなか取り組みにくい「読書」への挑戦をオススメします。ジャンルは別に何でもいいと思います。小説でなくても興味のある自然科学の本でもいいですし、スポーツの本でもいいでしょう。実際に本屋に足を運んでみると興味の湧く本が見つかるかもしれません。

夏休みは時間ができるからこそ、時間の区切りをしっかりと作り、有効に活用し、実りある夏期講習にしてください。



COLUMN: 全力で取り組んだ結果は自分自身の財産になる。僕もみんなの頑張りを全力で後押しします。

先生紹介 ▶ 大橋 遼太郎 (関目教室)



はじめまして！今年度から関目教室で集団クラスを担当している大橋遼太郎と申します。僕はカイチのOBで、そろばんから始まり中学を卒業

するまでおよそ6年間、今のみんなと同じように通塾していました。去年大学が決まった際にジュニア先生に声をかけていただき、教える側としてカイチに戻ってくることとなりました。今回は僕の自己紹介と伝えたいことを書きます。是非読んでください。

僕を一言で表すならばスポーツ大好き人間です。自分は小中高と野球をやってきました。今もプロ野球の結果などはチェックして授業のある日は終わってから結果速報を見るのですが、僕と福井先生の応援しているオリックスは弱くて大体いつも負けているんです(怒)。もうちょっとがんばれオリックス！話が若干逸れましたが、僕の入っていた高校の野球部はとても練習が厳しいところでした。朝練もあり、しんどすぎて授業中は寝ていました(良い子はまねしないでください(笑))。今になってはなぜあんなにもきつい練習をしていたのか、なぜ乗り越えてこられたのか、と思います。それでよくよく考えてみるとやっぱり周りの支えや仲間がいたことのおかげです。

カッコいいことを言っているかもしれませんが、これは間違いありません。そしてこれは勉強にも当てはまります。僕自身の話になるのですが、高校受験で前期試験に落ちたり、大学受験でも一浪したりと、なかなか上手くいかないことがあって、ものすごくやる気を維持するのが難しい時期がありました。孤独に勉強していたら絶対マイナス思考のままで上手くいかなかったと思うような時も、一緒に息抜きしたり、遅くまで残って頑張る友達に助けられた面がとて大きかったです。みんなは頑張ってるカイチという塾に通っているのだから周りのみんなと切磋琢磨してお互いを刺激し合えるような関係を築いてほしいと思います。そして何事にも全力で取り組んでください。全力で取り組んだ結果はどんな形であれ自分自身の財産になります。みんなの頑張りを後押しできるように僕も頑張るのでよろしくをお願いします。



岡本のちょっと イイ話

TEACHER'S VOICE 岡本 泰行 (今津教室)

梅雨明けが待たれる毎日ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。もうすぐ待ちに待った夏休みです。今からワクワクしている人もいます。

この前、実家や、田舎の方へ帰る機会があり、何気なく歩いていたのですが、「ここ(自分が)小さい頃に何があったかな」とふと思いました。そう思い出すと、いろいろな場所が、前はここに信号があった。や、ここにはコンビニもなかった。など普段は気にも留めないことが気になりだし、駅から実家まで帰る道のり約40分の間、頭がフル回転で子供の頃の風景を思い出していました。

私は、以前の記事に書いたように旅行が好きで、それにより社会(特に地理)が好きになり、大学では、教員免許取得のために社会のいろいろな授業を受けていました。その中で、地理が好きな私は、歴史地理学や、人文地理学といった取りあえず、地理という言葉の入っ

ている授業を良く取っていました。その中でも特に印象に残っている授業は、京都にある大学だったこともあり、京都の街でフィールドワークを行いながら、もしくは地図を見ながら、なぜここにこういうものがあるのか、なぜ、ここだけ道が斜めなのか(京都は碁盤の目のように南北の道と東西の道がまっすぐ交わっているのに)など、歴史的な背景や、過去の生活様式などと結びつけながら解き明かすというものでした。この授業を通して、普段は気づかないようなことに自分自身が目を向けた感じでした。

普段は何気なく通り過ぎていた場所も、見方を変えれば、新たな発見があるかもしれません。その発見から頭の中で勝手にイメージを膨らませて大昔の生活を想像してみるのもおもしろいかもしれません。上述のように私は街中を歩いていて、「これ何？」などと気になってしまったら、興味を持ってしまい、ずっ

気になってしまいます。自分の興味を持てること、好きなこと(熱中できること)とは、どのタイミングで出会うかはわかりません。自分の興味を持てることに会う出会い方などは人それぞれです。出会い方に決まりなどはないのですから、常にアンテナをはっているようなものにまずはやってみようという気持ちや、「なぜそうなるのだろうか？」という気持ちを持つようにしましょう。

と、この文章を書いている最中に、地図を見ながら、頭の中で今年の夏は久しぶりに静岡に行こうと、頭の中で旅行しています。

「プラタモリ」という番組で、京都の街並みの御土居が紹介されていました。何も知らない人が通ると、ただの小高い丘に感じるのですが、



カイチからのお知らせ

- 学習部は7月21日(木)～8月24日(水)は夏期講習期間となり、通常授業と指導曜日・時間が異なります。詳しくは夏期講習のお知らせに記載しております。
- 夏期講習欠席生のために補講日を設けています。補講日時については講習会のお知らせをご参照ください。
- 7月30日(土)・8月8日(月)～8月13日(土)・8月26日(金)・8月27日(土)は休講日とさせていただきます。